

14期 関西ぶらり散策 6月10日

校外学習 平城宮跡を訪ねて

受講生が行事を計画する「校外学習」として、順次整備が進められている「平城宮跡歴史公園」を訪れ、復原された建物や船、展示物などを見学しました。

集合：2026年6月10日午前9時30分、近鉄大和西大寺駅中央改札内側

ガイド：平城宮跡サポートネットワーク ガイド2名（2つの班につき1名）

スケジュール：

9時30分～10時00分 大和西大寺駅から平城宮跡歴史公園に移動

10時00分～12時00分 平城宮跡見学（第一次大極殿⇒大極殿門・東楼⇒朱雀門
⇒遣唐使船⇒平城宮いざない館）

12時00分～ 各班別活動

平城京と平城宮

平城京

平城京は、710年に藤原京より遷都してから784年に桓武天皇が長岡京に移るまで、740年～745年に恭仁京などへの短期間の遷都があったものの、奈良の都として74年間政治・文化の中心であった。唐の都長安に倣って造られたといわれており、東西約4.3km、南北約4.8kmの長方形の東側に、東西約1.6km、南北約2.1kmの外京があり、東西・南北に規則正しくならべた道路で、碁盤の目のように区切られていた。

平城宮

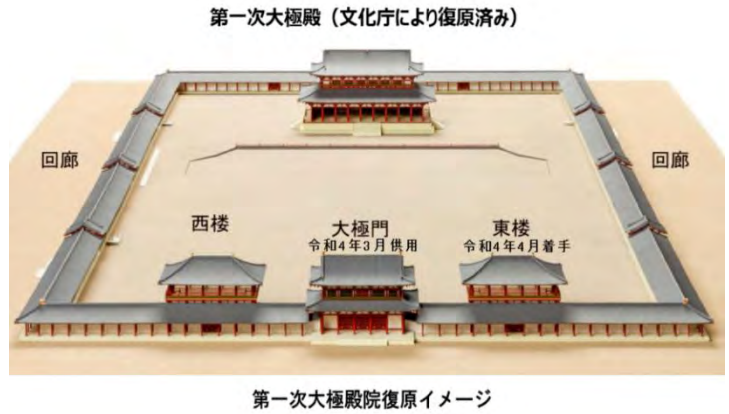
平城宮は平城京の北端に置かれ、天皇の住まいである内裏と、儀式や政務の行われた朝堂院等から成り、東西約1.3km、南北約1kmの規模であった。周囲には築地塀が張り巡らされ、朱雀門を始め豪族の姓氏に因んだ12の門が設置され、役人等はそれらの門より出入りしていた。



出典：国土交通省近畿地方整備局国営飛鳥歴史公園事務所「平城宮跡歴史公園とは」

第一次大極殿院エリア

平城宮跡の北方に位置する「第一次大極殿院」。第一次大極殿院は、「大極殿」を含む南北約 320m、東西約 180mのエリアであり、古代の宮都における中心施設として天皇の即位や外国使節との謁見など国家の重要な儀式が行われた。「第一次大極殿」は2010年(平成22年)、「大極門」は2022年(令和4年)、「東楼」は今年3月に復原された(「西楼」は今後整備予定)。



出典:近畿地方整備局ホームページ

(<https://www.kkr.mlit.go.jp/kensei/town/koen/heijopark.html>)

第一次大極殿



大極殿



左上: ^{しび}鷗尾、左下: 中央飾り、右: ^{たかみくら}高御座

大極門および東楼



西楼 ^{すやね}素屋根(工事用仮設建築物)

大極門

東楼 ^{ひがしろう}東楼

朱雀門ひろばエリア

朱雀門と朱雀大路

平城京の入口には羅城門があり、74m幅のメインストリートである朱雀大路を北へ 3.7km歩くと、突き当りが平城宮の正門「朱雀門」であった。現在の朱雀門は 1998 年(平成 10 年)に復原された。



復原遣唐使船

2010 年(平成 22 年)に開催された『平城遷都 1300 年祭』の際に復原された船で、平城宮跡歴史公園の開園で、公園内の展示施設となった。



平城宮いざない館

平城宮の往時の姿や生活文化を映像や出土品、建造物の大型模型から体験できる展示施設で、2018 年(平成 30 年)に竣工した。



平城宮全域の復原模型(1/200)

第一次大極殿構造模型(1/5)

発掘調査・研究による出土品・資料



東楼の柱



どういんていえん
東院庭園

いざない館前に建つ棚田嘉十郎の像の前でガイドさんから説明

「平城宮跡の保存には、民間人である棚田嘉十郎などによる明治・大正期の保存運動が大きな力になった」

復原された建築物、いざない館の展示物、ガイドさんの説明が相俟って 1300 年前の都の姿がイメージしやすく、天候にも恵まれた「校外学習」でした。